

十日町市

(新潟県十日町市)



贈呈理由

各施設における省エネ・省CO₂の実現に向けた排湯熱・地中熱ヒートポンプ等の採用

千年の湯



ヒートポンプ給湯器 室外機

人間と自然とのつながりをコンセプトとした越後妻有地域の「大地の芸術祭」で有名な新潟県十日町市は、2007年に「十日町市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の事業に係る温室効果ガスの排出量削減に向けた取り組みを展開している。

①再生可能エネルギーの導入、②省エネ設備・機器の導入などを重点的な項目として展開しており、既に「上野保育園」では空調・床暖房設備に地中熱ヒートポンプ

を活用したシステムを導入し、豪雪地域特有の冬期間のデフロスト運転もなく快適な空間となっている。また、02年の日韓サッカーW杯開催時にクロアチアがキャンプ地として使用した「クロアチアピッチ」には業務用エコキュートを設置しており、練習後のシャワー用の給湯として利用されている。温浴施設の「千年の湯」、「ゆくら妻有」では、排湯熱源式高効率ヒートポンプを探し温室効果ガスを大幅に削減すること

ができた。いずれの施設も蓄熱槽を設置しており、夜間運転をすることでコスト低減に寄与している。

11年度実績は、06年度比較で温室効果ガスの削減率が8.2%で目標値の6%を上回っており、今後もさらなる温室効果ガス排出量削減に向けてヒートポンプの導入を検討している。

主な蓄熱システム導入実績

●千年の湯

2009年 業務用ヒートポンプ給湯機 101.2kW×1台・50.6kW×1台 [ゼネラルヒートポンプ工業]
貯湯槽:20m³

●上野保育園

2010年 温水式電気床暖房
地中熱利用水熱源 ヒートポンプ51.5kW×1台 [ゼネラルヒートポンプ工業] 蓄熱槽:0.8m³

●クロアチアピッチ

業務用エコキュート 40kW×1台 [三菱電機] 貯湯槽:10m³

●ゆくら妻有

排熱回収ヒートポンプ 54.6kW×2台 [ゼネラルヒートポンプ工業] 貯湯槽:18m³